

基準 4 学生の受入

(1) 観点ごとの分析

観点 4-1-①： 教育の目的に沿って、求める学生像及び入学者選抜の基本方針等の入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）が明確に定められ、学校の教職員に周知されているか。また、将来の学生を含め社会に理解されやすい形で公表されているか。

(観点に係る状況)

本校では、各学科及び専攻ごとの教育目的に沿って、準学士課程（編入学を含む）及び専攻科課程へのアドミッション・ポリシーが明確に定められている（資料 4-1-①-1, 2）。特に、準学士課程については、中学生にも分かりやすく表現している。入学者選抜方法については、アドミッション・ポリシーを記載し公表した学生募集要項に明記している（資料 4-1-①-3）。

本校教職員には、入試業務担当者説明会の実施、ウェブサイトにも明示することで周知している（資料 4-1-①-4, 5）。教職員に向けて実施したアンケートでは、教職員の 63%（掲示場所を知っている教職員は 88%）がアドミッション・ポリシーについて知っていると回答しているが（資料 4-1-①-6）、新任教職員へは更なる周知の徹底を図ることにしている。

将来の学生に理解してもらうため、本校広報主事・主事補、各地域 PR 担当教員及び学生課等が連携して、中学校への訪問、オープンキャンパス、学校説明会等を実施しており（資料 4-1-①-7, 8）、その際にアドミッション・ポリシーを記載した学校案内及び学生募集要項を配布して、分かりやすく説明している。また、学校案内等を全国各地に送付し、広く社会に公表している（資料 4-1-①-9）。

(分析結果とその根拠理由)

本校では、準学士課程及び専攻科課程へのアドミッション・ポリシーが明確に定められている。教職員に向けて実施したアンケートでは、概ね教職員に周知されているものと確認できるが、新任教職員への更なる周知が必要である。また、本校は学校案内、学生募集要項、各種パンフレットを広く配布しており、オープンキャンパス、学校説明会、中学校訪問の際にもアドミッション・ポリシーを明示し分かりやすく説明している。

以上のことから、本校では、教育の目的に沿って、アドミッション・ポリシーが明確に定められており、かつ教職員にも周知されている。また、社会にも理解されるよう分かりやすい形で広く公表されている。

平成25年度

学生募集要項



国立 弓削商船

〒794-2593 愛媛県越智郡上
TEL 0897-77-4619
FAX 0897-77-4693
ホームページアドレス h

本校は求めています。このような入学生を！

～弓削商船高等専門学校の入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）～



商船学科

船や海に強い興味を持っている人
好奇心や探究心が強い人
自立心が強く根気力のある人



電子機械工学科

機械いじり・ものづくりに興味がある人
電気・電子工作に興味がある人
コンピュータを使った「もの」の操作に興味がある人



情報工学科

コンピュータを使いこなしたい人
コンピュータのしくみに興味がある人
コンピュータで何かをやろうと考えている人

(出典：平成25年度学生募集要項)

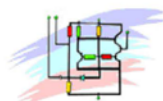
平成26年度
専攻科学生募集要項
(生産システム工学専攻)
(出願書類添付)

国立 弓削商船高等専

〒 794-2593 愛媛県松野郡上島町弓削下
TEL 0897-77-4620 (学生課教務課)
FAX 0897-77-4693 (学生課)

本校は求めています。このような入学生を！

～弓削商船高等専門学校の入学受入方針（アドミッション・ポリシー）～



生産システム工学専攻

手と頭脳が同時に働く実践的技術者を目指す人
コミュニケーション能力と国際感覚を備えたい人

個人情報の取扱いについて

入学志願者から提出された入学願書や調査書等に記載されている情報及び選抜に用いた試験成績・評価といった入学者選抜を通じて取得した個人情報は、入学者選抜の資料以外には利用しません。

なお、入学者については次の目的のためにも利用します。

- (1) 入学後の教育・指導
- (2) 入学科及び授業料の免除申請の審査
- (3) 奨学金申請の審査
- (4) 本校及び国立高等専門学校全体の教育制度・入学者選抜制度の改善のための調査・研究

(出典:平成 26 年度専攻科学生募集要項)

◇推薦による選抜

3. 入学者選抜方法

学校長から提出された調査書、健康診断証明書（商船学科を志望する者）、推薦書及び本校が実施する面接（口頭試問を含む。）の結果を総合して行います。

◇学力による選抜

3. 入学者選抜方法

本校が実施する学力検査、調査書及び健康診断証明書（商船学科を志望する者）の結果を総合して行います。

（出典：平成25年度学生募集要項P. 3, 8）

学力検査による入学者選抜実施要領

1 学力検査による入学者選抜関係日程表

項 目	期 日	時 間
1. 入学願書受付 (締め切り当日必着)	2月4日(月)～13日(水) (土、日及び祝日を除く)	9:00～16:00
2. 採点業務担当者説明会；第1会議室	2月12日(火)	16:20～
3. 健康診断証明書審査(校医) (要精密検査の志願者に連絡)	2月14日(木)	9:00～12:00
4. 入学試験委員会；第1会議室 (健康診断証明書確認)	2月15日(金)	16:20～
5. 精密健康診断審査(校医)	2月19日(火)	
6. 入試業務担当者説明会；第1会議室	2月21日(木)	16:30～
7. 会場準備 ・受検者集合場所(アセンブリホール) ・学力検査室(M1教室, 11教室) ・予備検査室(第2会議室) ・付添者控室(白雲館食堂)	2月22日(金)	16:20～
8. 派遣検査員出発 (東京, 大阪, 松山, 今治, 宇和島, 高松, 尾道, 福山, 広島, 岡山, 福岡)	2月23日(土)	
9. 学力検査実施	2月24日(日)	9:30～
10. 派遣検査員帰校 (大阪, 松山, 今治, 高松, 尾道, 福山, 広島, 岡山, 大島, 福岡)	2月24日(日)	
11. 派遣検査員帰校(東京, 宇和島)	2月25日(月)	
12. 採点会場等準備；第1・2会議室	2月25日(月)	13:30～
13. 採点についての打合せ；第1・2会議室	2月25日(月)	午前中
14. 採点, 調査書；第1・2会議室	2月26日(火)	13:30～
15. 採点再点検；第1会議室	2月27日(水)	14:00～
16. 入学試験委員会①；第1会議室 (合否判定資料(学内)作成)	2月28日(木)	16:00～
17. 教員会議①；第1会議室(合否判定(学内))	3月1日(金)	14:00～
18. 三商船合同選考会議；広島市	3月3日(日)	
19. 入学試験委員会②；第1会議室 (合否判定資料(最終)作成)	3月4日(月)	14:00～
20. 教員会議②；第1会議室(合否判定(最終))	3月4日(月)	入試委員会終了後
21. 合格者発表(合格者の受検番号を掲示板へ掲示) (合格通知書, 他書類発送)	3月5日(火)	13:00

※2月14日(木)に校医が精密検査を要すると判断した者には, 入試係から2月18日(月)までに精密検査結果を提出するよう14日(木)中に連絡する。

※2月19日(火)の校医による精密健康診断審査は, 精密検査を必要とする者がいない場合には実施しない。

(出典：学生課)

弓削商船高等専門学校 -- Yuge National College of Maritime Technology --

☐ メインメニュー

- ホーム
- ニュース
- 校長あいさつ
- 本校の教育方針・教育目標
- 学校案内
- クラブ活動
- 環境への取り組み
- 環境美化への取り組み
- 入試情報
- シラバス
- 学事予定表
- 情報公開
- FAQ
- ダウンロード
- リンク集
- 本校へのアクセス
- ご意見・お問い合わせ
- 工事・調達情報
- 個人情報の取扱

☐ 訪問者別メニュー

- 受験生の皆さんへ
- 企業の皆様へ
- 地域の皆様へ
- 学生の皆様へ
- 卒業生の皆様へ

☐ 学科紹介

- 総合教育科
- 商船学科
- 電子機械工学科
- 情報工学科
- 専攻科

☐ 学内WWWサーバ

- 情報処理教育センター
- 白砂寮
- 地域共同研究推進センター
- 技術振興会
- 同窓会
- 図書館
- @E-learning
- @WebMail
- @Aipo

☐ 学生向け情報

- 学生連絡
- 授業変更

☐ 検索

高度な検索

ホーム » 入試情報・アドミッションポリシー

本校は求めています。このような入学生を!

弓削商船高専は、108年の伝統を生かし、一貫したカリキュラムによって専門的知識を有し実践力と研究力を備えた技術者を育成します。特に「国際海運技術」「ものづくり技術」「IT・情報関連技術」を中心に、将来の科学技術社会を担う若人を世に輩出します。また、海の自然の中で、豊かな人間性と創造力を備えた技術者を育成し、地域社会に貢献することも、本校の大きな目的です。従って、次のような“学生のみなさん”を歓迎します。

学生募集関係の資料はこちら

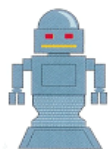


本科



商船学科

船や海に強い興味を持っている人
好奇心や探究心が強い人
自立心が強く根気のある人



電子機械工学科

機械・IT・ものづくりに興味がある人
電気・電子工作に興味がある人
コンピュータを使った「もの」の操作に興味がある人



情報工学科

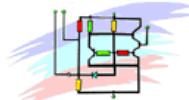
コンピュータを使いたくない人
コンピュータのしくみに興味がある人
コンピュータで何かをやろうと考えている人

専攻科



海上輸送システム工学専攻

工学的素養を身につけ海事関係分野で活躍したい人
海上輸送管理技術を身につけ社会で活躍したい人



生産システム工学専攻

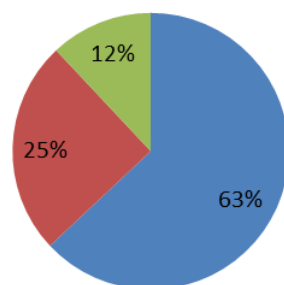
手と頭脳が同時に働く実践的技術者を目指す人
コミュニケーション能力と国際感覚を備えたい人

(出典:本校ウェブサイト)

資料4-1-①-6

「アドミッションポリシー」をどの程度知っていますか？

- 掲示・掲載場所, 内容とも知っている。
- 掲示・掲載場所は知っているが, 内容はよく知らない。
- 掲示・掲載場所, 内容とも知らない。



(出典：企画広報室)

訪問中学校 (広島県、愛媛県)

県番号	地域	No.	中学校名	中学校PR訪問・進路説明会											
				H23.4	H23.5	H23.6	H23.7	H23.8							
34	広島県広島市	156	広島県広島市立三葉												
		157	広島県広島市立白木												
		158	広島県広島市立大洲												
		159	広島県広島市立橋本												
		160	広島県広島市立仁保												
		161	広島県広島市立磯町												
		162	広島県広島市立吉島												
		163	広島県広島市立南光寺												
		164	広島県広島市立江波												
		165	広島県広島市立安野町												
		166	広島県広島市立観音												
		167	広島県広島市立中広												
		168	広島県広島市立長束												
		169	広島県広島市立福園												
		170	広島県広島市立福東												
		171	広島県広島市立東原												
		172	広島県広島市立安佐												
		173	広島県広島市立高取北												
		174	広島県広島市立安西												
		175	広島県広島市立存												
		176	広島県広島市立大塚												
		177	広島県広島市立美上												
		178	広島県広島市立己斐上												
		179	広島県広島市立吉田												
		180	広島県広島市立庚午												
		181	広島県広島市立高瀬												
		182	広島県広島市立島崎												
		183	広島県広島市立吉合												
		184	広島県広島市立山北												
		185	広島県広島市立坂本												
		186	広島県広島市立安佐南												
		187	広島県広島市立清和												
		188	広島県広島市立御厨												
		189	広島県広島市立三人												
		190	広島県広島市立安佐北												
191	広島県三原市立安佐														
192	広島県三原市立幸崎														
193	広島県三原市立大和														
194	広島県三原市立第一														
195	広島県三原市立第五														
196	広島県三原市立第三														
197	広島県三原市立立														
198	広島県三原市立立														
199	広島県三原市立本郷														
200	広島県三原市立附属三原														
201	広島県三次市立吉吉														
202	広島県三次市立三友														
203	広島県三次市立甲斐														
204	広島県三次市立三和														
205	広島県世羅町立世羅														
206	広島県世羅町立世羅西														
207	広島県世羅町立甲山														
208	広島県東広島市立高屋														
209	広島県東広島市立八木松														

県番号	地域	No.	中学校名	中学校PR訪問・進路説明会														
				H23.4	H23.5	H23.6	H23.7	H23.8	H23.9	H23.10	H23.11	H23.12	H24.1	H24.2	H24.3	回数計		
愛媛県伊予市		313	愛媛県伊予市立港南															1
		314	愛媛県伊予市伊予															1
		315	愛媛県伊予市立下瀬															0
		316	愛媛県伊予市立上瀬															0
		317	愛媛県宇和島市立宇和海															1
		318	愛媛県宇和島市立藤原															1
		319	愛媛県宇和島市立坂本															1
愛媛県宇和島市		320	愛媛県宇和島市立坂本															1
		321	愛媛県宇和島市立津島															1
		322	愛媛県宇和島市立三間															1
		323	愛媛県宇和島市立吉田															2
		324	愛媛県今治市立葛間															1
		325	愛媛県今治市立玉川															2
		326	愛媛県今治市立新保															2
愛媛県今治市		327	愛媛県今治市立権井															2
		328	愛媛県今治市立吉															2
		329	愛媛県今治市立大西															2
		330	愛媛県今治市立朝倉															2
		331	愛媛県今治市立南															2
		332	愛媛県今治市立白吉															2
		333	愛媛県今治市立美須賀															2
		334	愛媛県今治市立北郷															2
		335	愛媛県今治市立立花															2
		336	愛媛県今治市立南前															0
愛媛県今治市大三島		337	愛媛県立今治東中華教育学校														1	
		338	愛媛県私立今治明徳中学校														1	
		339	愛媛県今治市立上浦														2	
愛媛県今治市大島		340	愛媛県今治市立大三島														2	
		341	愛媛県今治市立吉浦														1	
愛媛県今治市泊方島		342	愛媛県今治市立吉窪														2	
		343	愛媛県今治市立泊方														2	
愛媛県四国中央市		344	愛媛県四国中央市立三島東															1
		345	愛媛県四国中央市立三島南															1
		346	愛媛県四国中央市立三島西															1
		347	愛媛県四国中央市立新宮															0
		348	愛媛県四国中央市立川之江北															1
		349	愛媛県四国中央市立川之江南															1
		350	愛媛県四国中央市立土居															1
		351	愛媛県松山市立久米															1
		352	愛媛県松山市立安原															1
		353	愛媛県松山市立吉浦															1
愛媛県松山市		354	愛媛県松山市立吉浦															1
		355	愛媛県松山市立南山															1
		356	愛媛県松山市立小野															1
		357	愛媛県松山市立西															2
		358	愛媛県松山市立中島															1
		359	愛媛県松山市立津田															1
		360	愛媛県松山市立権															2
		361	愛媛県松山市立海山															0
		362	愛媛県松山市立内宮															1
		363	愛媛県松山市立南															2
364	愛媛県松山市立南第二															1		

(出典：学生課)

資料4-1-①-8

平成22年度 中学校訪問校一覧

愛媛県	香川県	高知県	徳島県	広島県
81	19	8	10	56
兵庫県	愛知県	福岡県	熊本県	合計
34	19	33	10	270

平成23年度 中学校訪問校一覧

愛媛県	香川県	高知県	岡山県	
98	23	2	2	
広島県	兵庫県	愛知県	大阪府	
92	35	12	3	
埼玉県	福岡県	熊本県	長崎県	合計
1	22	9	8	307

(出典：学生課)

資料4-1-①-9

平成24年度学校案内・募集要項送付中学校・塾

(中学校)

北海道	1	奈良県	3
茨城県	1	島根県	1
埼玉県	1	岡山県	130
千葉県	5	広島県	257
東京都	6	山口県	1
神奈川県	4	愛媛県	143
新潟県	1	高知県	100
福井県	1	徳島県	82
長野県	1	香川県	71
静岡県	1	福岡県	14
愛知県	2	佐賀県	1
滋賀県	6	熊本県	7
京都府	3	大分県	2
大阪府	32	宮崎県	1
兵庫県	67	鹿児島県	6
和歌山県	2	沖縄県	1
		合計	954

(塾)

愛媛県	103	兵庫県	1
広島県	447	合計	551

(出典：学生課)

観点 4-2-①： 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）に沿って適切な学生の受入方法が採用されており、実際の入学者選抜が適切に実施されているか。

（観点に係る状況）

【準学士課程の入学者選抜】

準学士課程の入学者選抜は、推薦による選抜と学力検査による選抜を実施している。

推薦による選抜では、中学校長から推薦のあった学生について、推薦書、アドミッション・ポリシーの適合性の項目を含む面接（口頭試問を含む）、調査書を総合的に評価し（資料 4-1-①-3）、本校推薦選抜の選抜基準に基づき、受検者の適性を厳正に審査している（資料 4-2-①-1, 2）（推薦入試の各学科の選抜基準は、訪問調査時に提示）。

学力検査による選抜では、高専機構作成の共通問題により学力検査を実施している（資料 4-2-①-3）。学力検査の成績は数学について 200 点、他の 4 科目を各 100 点とし、中学校での学習成績は数学、理科、英語、国語、社会の 5 科目の 5 段階評価の合計を 3 倍し、音楽、美術、保健体育、技術・家庭の 4 科目の合計を 1.5 倍する傾斜配点を行って、技術者教育に必要な基礎学力を重視した評価としている（資料 4-2-①-4）。また、学生募集要項にアドミッション・ポリシーを明記し、受検者へ志願の動機を求め、調査書により確認している（資料 4-2-①-5）。特に、第 1 志望学科を優先して合否判定を行っており、各学科への志願に沿って、受検者の適性を厳正に審査している（資料 4-2-①-4）。以上の入学者選抜において定められた基準に基づいて、入試委員会で厳重に合否の審議を行ない、教員会議での審議を経て最終決定する。

【複数校志望受検制度による入学者選抜】

商船学科への入学を強く志望する中学生を対象として、瀬戸内 3 商船高専（広島商船高専、大島商船高専、弓削商船高専）が連携して、2 校を志望することができる複数校志望受検制度を全国高専に先駆けて平成 23 年度入試から実施している。選抜方法は、学力検査による選抜と同じであるが、本制度は 2 年間かけて検討・準備し、アドミッション・ポリシーを理解し商船学科への志向性の高い学生に対して、広く受け入れる方針を具体化したものである（資料 4-2-①-6, 7）。

【準学士課程工業系学科 4 年次への入学者選抜】

準学士課程工業系学科 4 年次への編入学選抜においても、推薦による選抜と学力検査による選抜を実施している。商船学科については、国土交通省の定める船舶職員養成施設認定の関係から、編入学生を受け入れることは行っていない。推薦による選抜では、推薦書、面接、調査書と口頭試問の結果を総合的に評価している。学力検査による選抜では、数学、外国語、専門科目の筆記試験、面接、調査書により評価し、アドミッション・ポリシーに沿って厳正に審査している（資料 4-2-①-8~10）。

【専攻科への入学者選抜】

本校専攻科への入学者選抜は、推薦による選抜と学力検査による選抜を合わせて、年間に 3 回（6 月、9 月、11 月）実施している。高等専門学校を卒業した者、短期大学を卒業した者、学校教育法における 14 年の課程を修了した者、社会人特別選抜など、広く入学者を受け入れる方針を示している。専攻科の入学者選抜においても、準学士課程とは別にアドミッション・ポリシーを定めており、入学願書（資料 4-2-①-11）の中に「特別研究で取り込みたいテーマ」の記載欄を設け、プレゼン及び口頭試問を実施して（資料 4-2-①-12）、アドミッション・ポリシー

に合致する学生の受入れを行っている。定められた選抜基準に基づき、専攻科委員会で入試結果の確認・審議を行い、教員会議での審議を経て最終決定する。

(分析結果とその根拠理由)

本校の準学士課程の入学選抜では、入試委員会の定める入学選抜基準、公表しているアドミッション・ポリシーに沿って適切に実施されている。学力による選抜では、学力検査及び中学校での学習成績を傾斜配点し、第1志望を優先した選抜を行っている。推薦による選抜では、面接時に必ず本校アドミッション・ポリシーへの理解について質問し、本校の定めるアドミッション・ポリシーに照らした選抜を行っている。

また、平成23年度入試から、瀬戸内3商船高専（広島商船高専、大島商船高専、弓削商船高専）が連携して、2校を志望することができる複数校志望受検制度を実施しており、商船学科への志向性の強い学生の選抜に繋がっている。

専攻科の入学選抜においても、準学士課程とは別にアドミッション・ポリシーを定め、それに沿った学生の受入れを行っている。定められた選抜基準に基づき、専攻科委員会で入試結果の確認・審議を行い、教員会議での審議を経て決定する。

以上のことから、本校において入学選抜はアドミッション・ポリシーに沿って適切な学生の受入方法が採用されており、実際の入学選抜が適切に実施されているといえる。

取扱注意

平成24年度
入学者選抜実施要領
推薦選抜

弓削商船高等専門学校

(出典:学生課)

資料4-2-①-2

平成24年度面接記録書

個人情報等保護のため削除

(出典：学生課)

資料4-2-①-3



平成24年度

入学者選抜実施要領

学力選抜

本校検査員
8時30分
第1会議室集合

弓削商船高等専門学校

(出典：学生課)

資料4-2-①-4

学力による選抜の合格者選考方法

非公開情報のための削除

(出典：学生課)

平成 2 5 年度
弓削商船高等専門学校
入学志願者 調査書

受検番号	※
------	---

ふりがな				性別								
氏 名				男・女		平成 年 月 日		中学校		卒業・卒業見込み		
生年月日		平成 年 月 日 生										
学 習 の 記 録	教 科	第 3 学年観点別学習状況		評 定			教 科	第 3 学年観点別学習状況		評 定		
		観 点	評価	1年	2年	3年		観 点	評価	1年	2年	3年
	国 語	関心・意欲・態度					音 楽	関心・意欲・態度				
		話す・聞く能力						感受や表現の工夫				
		書く能力						表現の技能				
		読む能力						鑑賞の能力				
	社 会	知識・理解・技能					美 術	関心・意欲・態度				
		関心・意欲・態度						発想や構想の能力				
		社会的な思考・判断						創造的な技能				
		技能・表現						鑑賞の能力				
	数 学	知識・理解					保 健 体 育	関心・意欲・態度				
		関心・意欲・態度						思考・判断				
数学的な見方や考え方					運動の技能							
表現・処理					知識・理解							
理 科	知識・理解					技 術 ・ 家 庭	関心・意欲・態度					
	関心・意欲・態度						工夫し創造する能力					
	科学的な思考						生活の技能					
	技能・表現						知識・理解					
外 国 語 (英語)	知識・理解					評定小計※						
	関心・意欲・態度					3年間の評定合計※						
	表現の能力					第 3 学年観点別学習状況の A の数※						
	理解の能力					〃 C の数※						
出 欠 の 記 録	学 年	出席停止・遅刻等	欠席日数	遅刻回数	早退回数	理 由						
	第 1 学年					-----						
	第 2 学年					-----						
	第 3 学年					-----						
特 別 活 動 の 記 録	学 年	学 級 活 動				生 徒 会 活 動						
	第 1 学年	-----				-----						
	第 2 学年	-----				-----						
	第 3 学年	-----				-----						
行 動 の 記 録	基本的な生活習慣	健康・体力の向上	自主・自律	責任感	創意工夫	思いやり・協力	生命尊重・自然愛護	勤労・奉仕	公正・公平	公共心・公德心		
特技 (資格等を含む。)												
部 活 動 ・ 校 外 活 動	第 1 学年	-----				総 合 所 見						
	第 2 学年	-----										
	第 3 学年	-----										
記載責任者							職・氏名		印			
本書の記載事項に誤りのないことを証明します。 平成 年 月 日												
						学校名						
						校長氏名		職印				

(出典：学生課)

商船学科希望者に朗報

弓削商船高等専門学校
広島商船高等専門学校
大島商船高等専門学校

商船学科複数校志望受検制度

平成23年度学生募集からの新制度紹介

この複数校志願受検制度は、瀬戸内にある3商船高専(弓削商船高専・広島商船高専・大島商船高専)が行う「学力検査による選抜」において、商船学科を希望する受検生の進路選択の可能性を拡大するための制度です。

3校のうち1校の商船学科を第一志望校、他校の商船学科を第二志望校とした2校にかかる選抜への出願を認めるものです。

ただし、2校に合格することはできません。第一志望校の合格を優先します。

新制度の魅力

- No. 1 2つの高専を志望しても、受験料は1校分でよい
- No. 2 推薦選抜を不合格のあとでも複数校志望受検制度を利用可能
- No. 3 検査地が広範囲 (東京・大阪・広島・大島・福岡)

選抜方法

学力による入学者選抜において、**商船学科**に志望するとき、瀬戸内にある3商船高専のうち1校を第一志望校、他の1校を第二志望校とした、2校にかかる受検を認めるものである。

ただし、2校に合格することはできない。

第一志望校の合格を優先する。

入学者の選抜は、提出書類の評価と学力検査(5教科)、面接の評価を総合して行う。

ただし、広島商船高専では、原則として面接を評価の対象としない。

また、弓削商船高専については、学力検査における理科及び社会の検査科目を評価の対象としない。

出願方法

「商船学科複数校志望受検制度出願書類」を第一志望校に提出する。その際には第一志望校の「学生募集要項」添付の出願書類を使用する。

検定料は、従来の1校分(16,500円)とする。

推薦による選抜において商船学科不合格の場合、推薦による選抜を受検した志望校を第一志望校とする場合のみ「商船学科複数校志望受検制度」による学力検査選抜を受検することができる。

検定料を再度納付する必要はない。

ただし出願書類は再提出する。



(出典：学生課)

商船学科複数校志望受検制度 学力検査による選抜
(本校と広島商船高等専門学校又は大島商船高等専門学校との併願)

商船学科複数校志望受検制度の概要

この商船学科複数校志望受検制度は、瀬戸内にある3商船高専の「学力検査による選抜」において、商船学科を志望する受検生の進路選択の可能性を拡大するための制度です。3校のうち1校の商船学科を第1志望校、他校の商船学科を第2志望校とした2校にかかる選抜への出願を認めるものです。ただし、2校に合格することはできません。第1志望校の合格を優先します。

1. 出願資格

次のいずれかに該当する者とします。

- (1) 中学校を卒業した者又は平成25年3月卒業見込みの者
- (2) 中等教育学校の前期課程を修了した者又は平成25年3月前期課程修了見込みの者
- (3) 中学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者
(学校教育法施行規則第95条に該当する者)

2. 出願手続

(1) 受付期間

平成25年2月4日(月)から2月13日(水)まで
 持参する場合は午前9時から午後4時まで受け付けます。
 ただし、土曜日、日曜日及び祝日は窓口受付を行いません。
 (郵送の場合も2月13日(水)午後4時までまでに必着のこと。)

※入学検定料振込期間

平成25年1月15日(火)から2月13日(水)まで
 金融機関の営業日、営業時間等を十分考慮して手続きを行ってください。

(2) 受付場所

出願書類は、第1志望校に提出してください。

〒794-2593 愛媛県越智郡上島町弓削下弓削1000番地
 弓削商船高等専門学校 学生課入試係
 TEL 0897-77-4619

〒725-0231 広島県豊田郡大崎上島町東野4272番地1
 広島商船高等専門学校 学生課教務係
 TEL 0846-67-3022

〒742-2193 山口県大島郡周防大島町大字小松1091番地1
 大島商船高等専門学校 学生課教務係
 TEL 0820-74-5473

(出典：学生課)

IV 編入学生の選抜方法

推薦によるもの

1. 口頭試問及び面接の日時及び場所

日 時 平成 24 年 8 月 6 日 (月) 午前 10 時 30 分

場 所 弓削商船高等専門学校

2. 身体基準

修学に支障がないこと。

3. 合格者の発表

(1) 平成 24 年 8 月 10 日 (金) 午前 11 時, 本校に掲示するとともに, 本人あてに可否の通知書を発送します。

なお, ホームページ(<http://www.yuge.ac.jp/>)においても 8 月 10 日 (金) 午前 11 時から 8 月 13 日 (月) 午前 11 時まで公開します。

(2) 合格及び不合格の理由等についての問い合わせには応じません。

4. 入学確約書の提出

合格通知を受けた者は, 平成 24 年 9 月 3 日 (月) までに「入学確約書」(合格通知に同封)を提出してください。郵送の場合は 9 月 3 日 (月) の消印のあるものまで有効とします。

「入学確約書」を提出しない者は, 本校入学の意志がないものとして取り扱います。

学力検査によるもの

1. 学力検査の科目, 検査日時及び検査場

(1) 検査科目

学 科	科 目	出 題 範 囲
電子機械工学科	一般科目	数 学 数学 I・II 外 国 語 英語 I・II
	専門科目 (右記 3 科目 のうち 1 科目 を選択)	機 械 工 学 機械設計の基礎, 工業力学 機械工作法, 機械材料
		電 気 ・ 電 子 工 学 電気基礎, 電磁気学, 電気回路 電子回路
		物 理 力と運動, 電気と磁気
情報工学科	一般科目	数 学 数学 I・II 外 国 語 英語 I・II
	専門科目 (右記 3 科目 のうち 1 科目 を選択)	情 報 工 学 電子計算機の基礎, 流れ図とプログラミング(注) 論理回路の基礎
		電 気 ・ 電 子 工 学 電磁気学, 電子回路
		物 理 力と運動, 電気と磁気

(注) 情報工学科の専門科目における情報工学のプログラミングの言語は, C, JAVA, BASIC, FORTRAN 及び PASCAL のうち, いずれか一つを選択してください。(編入学願書及び受検票の所定の欄を○で囲んでください。)

(2) 検査日時

8月6日(月)	一 般 科 目		専 門 科 目	面 接
	数 学	外 国 語		
	10:30~11:20	11:40~12:30		

(出典: 平成 25 年度編入学生募集要項 P. 5, 6)

取扱注意

平成25年度

編入学試験実施要領

〔 検査員等 集合時間：8時30分
集合場所：第1会議室 〕

弓削商船高等専門学校入学試験委員会

(出典：学生課)

資料4-2-①-10

平成25年度面接記録書

非公開情報のための削除

(出典：学生課)

平成25年度
専攻科学生募集要項
 (海上輸送システム工学専攻)
 (出願書類添付)

国立 弓削商船高等専門学校
 〒794-2593 愛媛県越智郡上島町弓削下弓削1000番地
 TEL 0897-77-4619 (学生課入試係)
 FAX 0897-77-4693 (学生課)

平成25年度
弓削商船高等専門学校専攻科入学願書

				※ 受験番号	
志 望 専 攻	海上輸送システム工学専攻	推 薦 力	学 力 人	社 会 人	受検科目
				基礎力学、船舶工学、経済、法学概論 熱力学、流体力学、材料・材料力学、 電気・電子工学の中から3科目を選択	
推薦による選抜で不合格になった場合の学力検査による選抜の希望の有無					有 ・ 無
志 者	ふりがな			男・女	生 年 月 日
	氏 名			昭和	平成 年 月 日生
者	ふりがな			TEL - -	
	現住所	〒 -		TEL - -	
	出身学校	平成 年 月	大学	卒業・卒業見込み	卒業見込み
者	卒業後の履歴	年 月	学校	学科	修了・修了見込み
		年 月			
		年 月			
勤 務 先 名 (部・課名まで)					
勤 務 先 所 在 地 〒 - TEL - -					
特別研究で取り組みたいテーマ					特別研究の指導を希望する教員
卒業研究題目					
卒業研究要旨					

- (注) 1. ※印は記入しないでください。
 2. 太枠内は全て志願者が記入し、該当事項を○で囲んでください。
 3. 黒又は青色インク（ボールペンでもよい。）で記入してください。
 4. 受検科目の欄は、当該事項を○で囲んでください。ただし、推薦による選抜及び社会人特別選抜を志望する者は、受検科目欄は不要です。
 5. 社会人特別選抜を志望する者は、勤務先名及び勤務先所在地を記入してください。

個人情報の適切な保護について

弓削商船高等専門学校では、「独立行政法人等の保有する個人情報保護に関する法律」に基づき入学願書により取得した個人情報は、入学願書に関すること以外の目的には使用いたしません。

(出典：平成25年度専攻科学生募集要項・入学願書)

IV. 選抜方法

選抜は、「推薦による選抜」、「学力検査による選抜」及び「社会人特別選抜」の三つの方法で行います。

推薦による選抜

1. 選抜の実施方法

推薦書、調査書、並びに本校で実施する面接の結果を総合して選抜を行います。面接では、5分間で志望理由、卒業研究、並びに入学後の研究計画に関するプレゼンテーションが課されます。その際、プロジェクターを用いたプレゼンテーションを希望する場合は、ノート型PCを持参すること。

2. 出願資格

(1) 次のいずれかに該当し、在学又は出身の学校長の推薦を得た者とします。

① 高等専門学校を卒業した者

海上輸送システム工学専攻：平成25年9月卒業見込みの者を含む。

② 短期大学を卒業した者（平成25年3月卒業見込みの者を含む。）

③ 専修学校の専門課程を修了した者のうち、学校教育法第132条の規定により大学に編入学することができる者（平成25年3月修了見込みの者を含む。）

(2) 人物が優れ、本校入学の意志が強い者

3. 推薦による選抜の日時及び場所

日時：日程表のとおり（13時00分～）

場所：弓削商船高等専門学校

4. 身体基準

修学に支障がないこと。

学力検査による選抜

1. 選抜の実施方法

本校で実施する学力検査（専門科目、英語、数学）の成績、調査書、及び面接の結果を総合して選抜を行います。ただし、専門科目の学力検査は筆記試験、英語と数学の学力検査は、口頭試問の形式で実施されます。また、面接では、5分間で志望理由、卒業研究、並びに入学後の研究計画に関するプレゼンテーションが課されます。その際、プロジェクターを用いたプレゼンテーションを希望する場合は、ノート型PCを持参すること。

（出典：平成25年度専攻科学生募集要項抜粋）

観点 4-2-②： 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）に沿った学生の受入が実際に行われているかどうかを検証するための取組が行われており、その結果を入学者選抜の改善に役立っているか。

（観点に係る状況）

本校では、各学科において、それぞれのアドミッション・ポリシーに沿った学生の受入が実施されているか検証するため、教務委員会及び入試委員会において検証を行っている。具体的には、各年度で、学生の成業率に関して追跡調査を実施し、検証している（資料 4-2-②-1）。また、1年次の学生を対象に学力試験を実施しており、入学生学力レベルの把握に努め、アンケートを実施し志望の動機等について集計している（資料 4-2-②-2, 3）。平成 21 年度から広報主事・主事補を置き、これまで以上にアドミッション・ポリシーを周知するよう努めると同時に、入学者の出身中学へも訪問し、当該学生の状況報告を行うことで、アドミッション・ポリシーへの理解を深めてもらい、入学者選抜に役立っている。また、平成 23 年度入試から実施している瀬戸内 3 商船高専（広島商船高専、大島商船高専、弓削商船高専）が連携した商船学科複数校志望受検制度で第 1, 2 志望での入学者状況をまとめることにより、アドミッション・ポリシーに合致した学生が入学できているかの検証を行っている（資料 4-2-②-4）。工業系学科の入学者についても、アドミッション・ポリシーに合致した学生を受け入れるため、平成 23 年度入試から調査書の成績記載教科を 5 教科から 9 教科に改正し、観点別学習状況の記載欄を追加するように改善を図った（資料 4-2-②-5）。また、平成 25 年度入試から入学試験科目を 5 科目へと変更したことにより、基礎学力をより幅広く反映できるように入試制度の改善を行った（資料 4-2-②-6）。

工業系学科の準学士課程 4 年次への編入学者については、卒業の進路を追跡調査しており、工業系学科への適性を評価している。この評価をもとに、入試委員会での審議を経て、アドミッション・ポリシーに沿った学生の受入が実施できているか検討している（資料 4-2-②-7）。

専攻科入学者については、入学後に学生アンケートを取り、専攻科カリキュラムについての学生からの評価を分析することで、学生受入制度の改善に取り組んでいる段階である。また、入試に際して、志望動機や志向性、入学後の研究について学生にプレゼンを課しており、こうした評価や分析から、アドミッション・ポリシーに沿った学生の受入が実施されているか検証し、常に入試問題作成にも反映させられるような体制としている（資料 4-2-②-8~10）。

（分析結果とその根拠理由）

準学士課程学生に関する成業率について、平成 21 年度以降原級留置者総数は減少・改善される傾向にある。広報主事・主事補を設置し、アドミッション・ポリシーを公表・周知する体制をより充実させたことで、多くの受検者が本校のアドミッション・ポリシーを知る機会が増加し、その結果としてアドミッション・ポリシーに合致した学生を受け入れることに繋がっていると考えられる。さらに、商船学科においては、平成 23 年度の原級留置者が 0 名となり、複数校志望受検制度の導入の効果が認められ、より志向性の高い学生を獲得できている。

工業系学科の準学士課程 4 年次への編入学者について、準学士課程卒業後の進路を追跡調査すると、本校専攻科及び大学への進学率が比較的高く、より高い専門課程を志向する傾向がある。

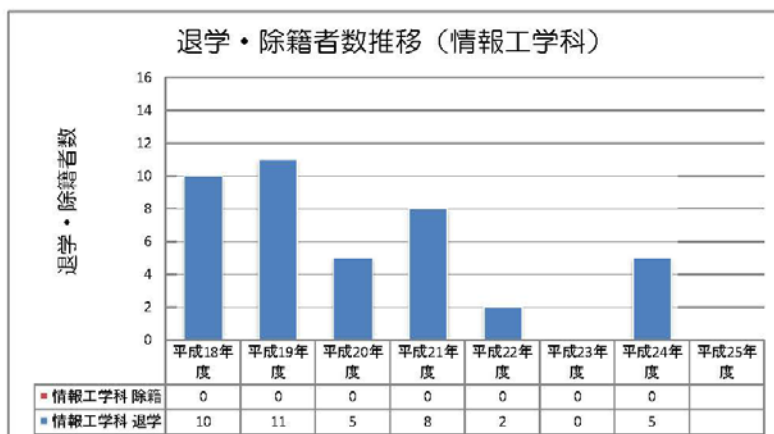
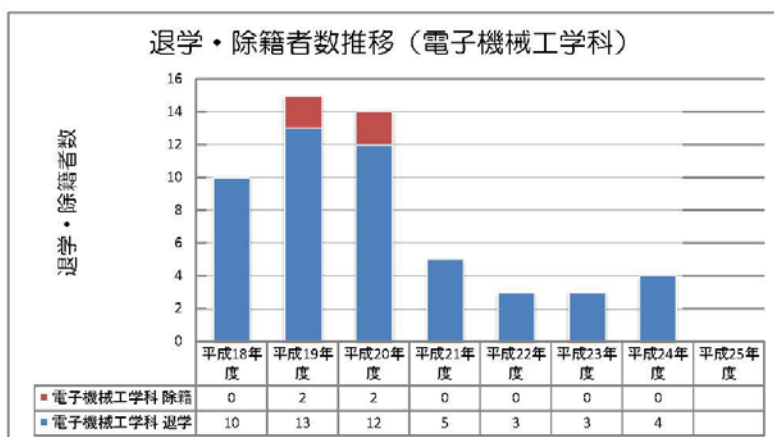
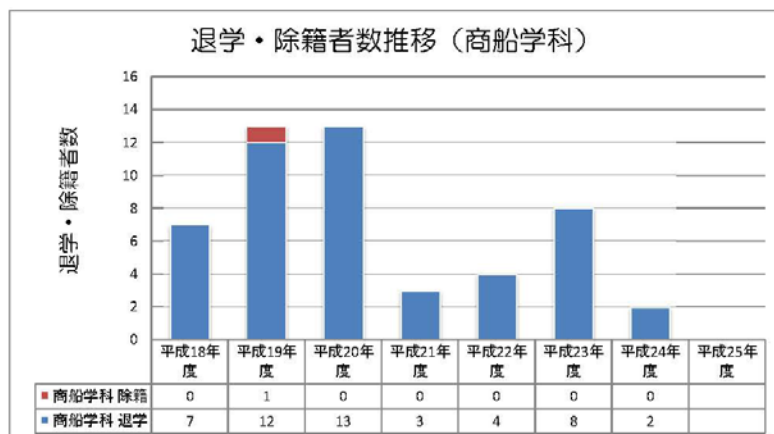
専攻科の学生受入については、入学後のアンケートを取ることや、志望動機や志向性、入学後

の研究について学生にプレゼンを課すことで、アドミッション・ポリシーに沿った学生の受入が実施されているか、専攻科委員会等で検証されている。

以上のことから、アドミッション・ポリシーに沿って適切な学生の受入方法が採用され、入学者選抜の適正実施の検証が行われており、入学者選抜の改善に役立てているといえる。

成業率推移 退学・除籍者数推移

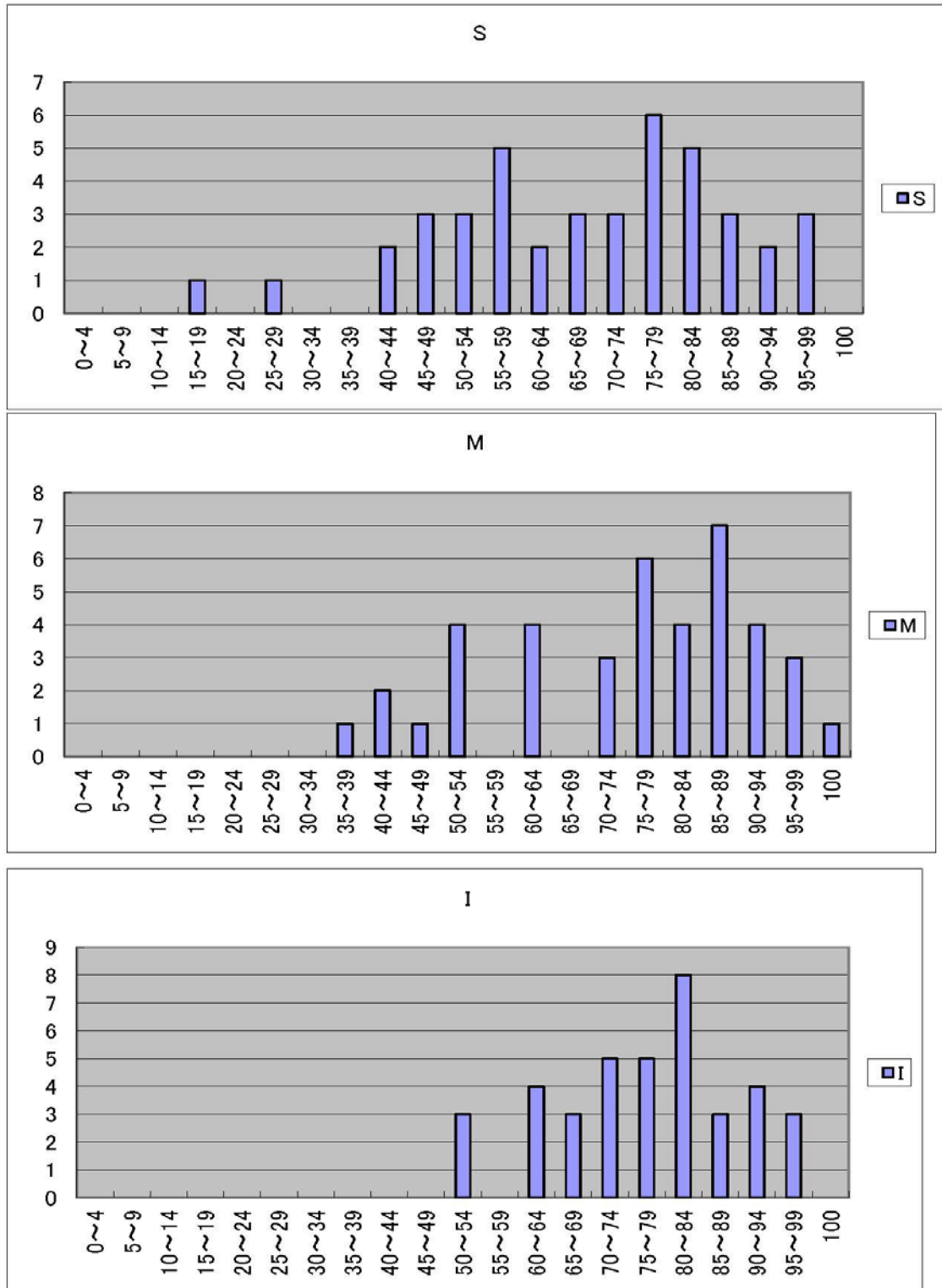
	商船学科		電子機械工学科		情報工学科	
	退学	除籍	退学	除籍	退学	除籍
平成18年度	7	0	10	0	10	0
平成19年度	12	1	13	2	11	0
平成20年度	13	0	12	2	5	0
平成21年度	3	0	5	0	8	0
平成22年度	4	0	3	0	2	0
平成23年度	8	0	3	0	0	0
平成24年度	2	0	4	0	5	0
平成25年度						



(出典：学生課)

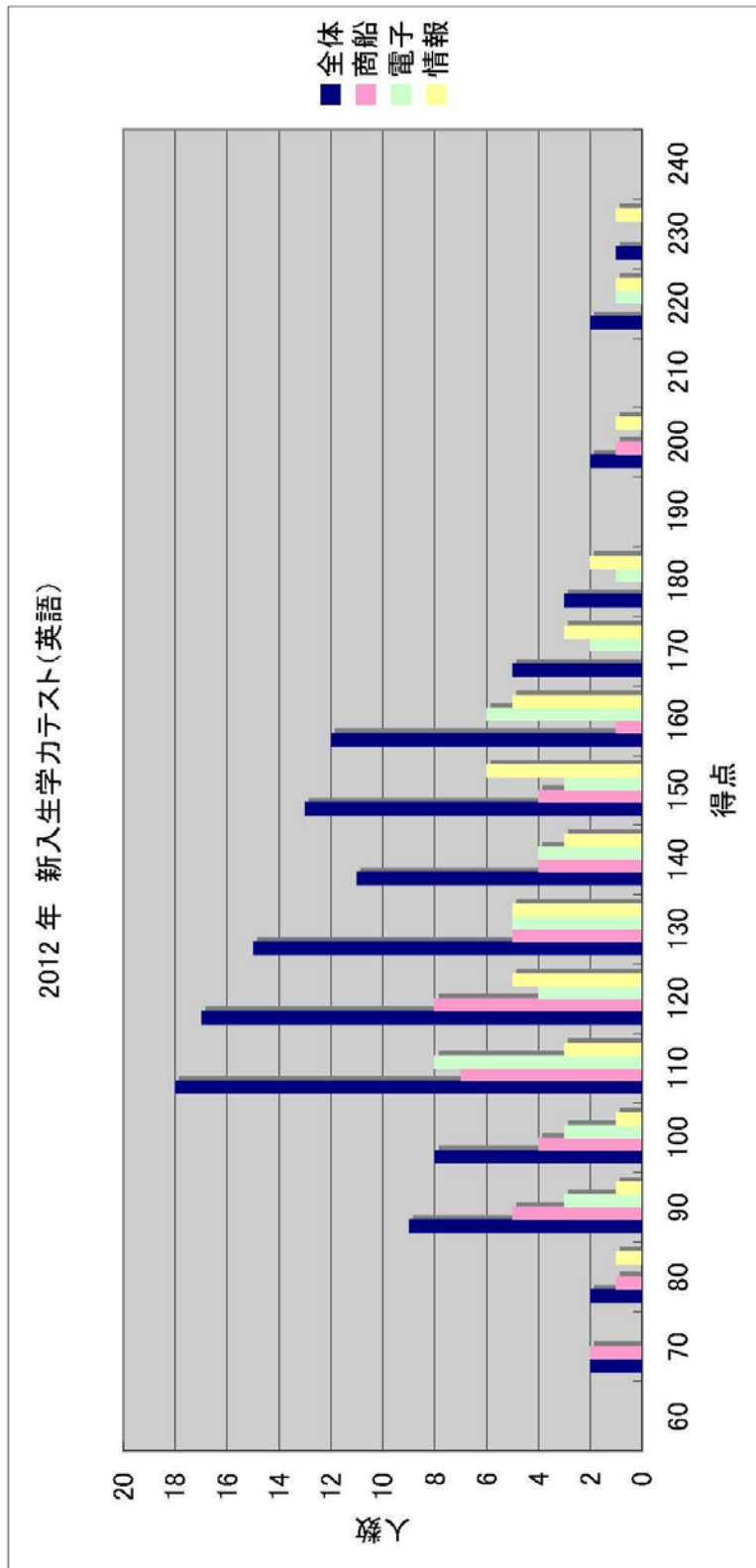
資料4-2-②-2-1

H24 新入生学力試験 (数学)



(出典: 学生課)

資料4-2-②-2-2



	2012年				2011年			
	全体	商船	電子	情報	全体	商船	電子	情報
平均	136.6	123.5	138.2	149.6	149	150.7	143.7	151.0
最低点	74	74	95	89	74	99	110	74
最高点	232	202	224	232	244	203	182	244

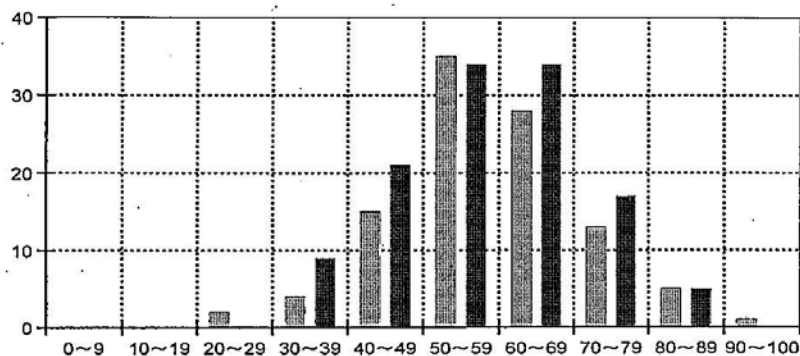
(出典:学生課)

資料4-2-②-2-3

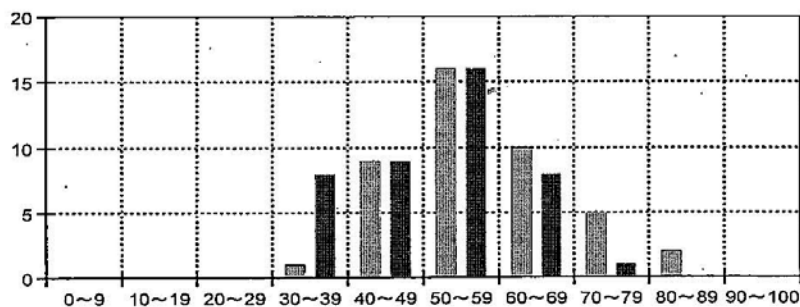
H24.5.31
教員会議
報告資料 1

H24 新入生共通学力試験（国語）

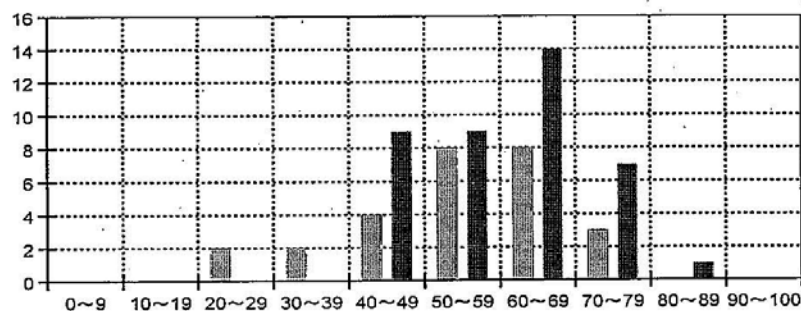
総 (120名)
平均：56.8点
(前年58.5点)
最高：89点
(前年91点)
最低：31点
(前年26点)



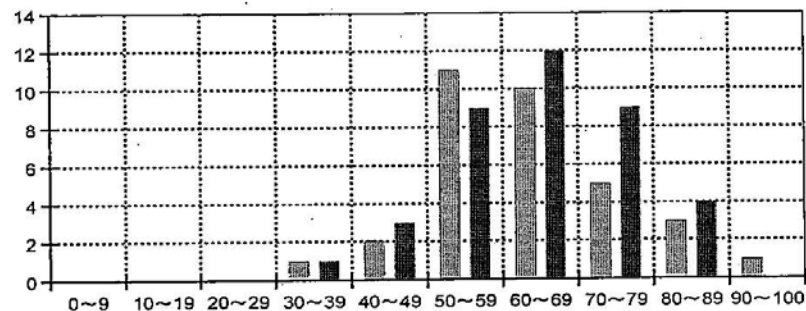
商船 (42名)
平均：50.8点
(前年57.6点)
最高：73点
(前年88点)
最低：31点
(前年37点)



電子 (40名)
平均：60.3点
(前年54.7点)
最高：89点
(前年75点)
最低：41点
(前年26点)



情報 (38名)
平均：63.2点
(前年62.6点)
最高：89点
(前年91点)
最低：38点
(前年37点)



(出典：学生課)

資料 4 - 2 - ② - 3

○入学動機に関するアンケート調査集計結果（平成24年度）

高専番号	高専名	学科名	学科番号	入学定員	在籍者数	回答者数	1 志望動機（3つまで回答可）													その他の具体例
							教育内容	5年一貫教育	早期専門教育	就職率	大学進学	専攻科	JABEE認定	教員	寮	立地・通学環境	ロボコン	課外活動	その他	
		計		120	119	119	62	12	51	92	6	14	2	9	23	12	9	10	6	
41	弓削商船高等専門学校	商船学科	701	40	42	42	17	1	16	33	1	7	1	4	10	5	0	5	2	船に興味がある。業界で仕事がしたい。
41	弓削商船高等専門学校	電子機械工学科	203	40	39	39	26	5	16	30	4	4	0	3	7	6	7	3	1	父が卒業生
41	弓削商船高等専門学校	情報工学科	304	40	38	38	19	6	19	29	1	3	1	2	6	1	2	2	3	親の話を聞いて

高専番号	高専名	学科名	学科番号	入学定員	在籍者数	回答者数	2 受験検討時期（回答は1つ）										その他の具体例
							中1	中2第1学期	中2第2学期	中2第3学期	中3第1学期	中3第2学期	中3第3学期	その他			
		計		120	119	119	9	6	9	11	33	34	11	6			
41	弓削商船高等専門学校	商船学科	701	40	42	42	2	2	5	7	8	10	4	4	中3の後期		
41	弓削商船高等専門学校	電子機械工学科	203	40	39	39	6	2	2	1	12	11	3	2	中5の頃		
41	弓削商船高等専門学校	情報工学科	304	40	38	38	1	2	2	3	13	13	4	0			

高専番号	高専名	学科名	学科番号	入学定員	在籍者数	回答者数	3 受験決定時期（回答は1つ）										その他の具体例
							中1	中2第1学期	中2第2学期	中2第3学期	中3第1学期	中3第2学期	中3第3学期	その他			
		計		120	119	119	3	3	3	2	14	60	30	4			
41	弓削商船高等専門学校	商船学科	701	40	42	42	2	0	1	0	5	20	11	3	中3の後期		
41	弓削商船高等専門学校	電子機械工学科	203	40	39	39	1	2	1	0	5	19	10	1	中3の夏休み		
41	弓削商船高等専門学校	情報工学科	304	40	38	38	0	1	1	2	4	21	9	0			

高専番号	高専名	学科名	学科番号	入学定員	在籍者数	回答者数	4 関心を持った経緯（3つまで回答可）															その他の具体例		
							高専主催説明会	体験入学等	オズ・キャンパス・見学会等	直寄せ	公開講座	出前授業等	パンフレット	ホームページ	中学校主催説明会	中学教師	塾	友人	先輩	親	兄・姉		新聞等掲載誌	その他
		計		120	119	119	10	13	55	30	1	3	29	22	12	20	9	8	14	37	17	1	9	
41	弓削商船高等専門学校	商船学科	701	40	42	42	3	4	20	5	1	1	9	13	2	6	4	2	3	16	4	0	5	雑誌からの依頼、テレビ
41	弓削商船高等専門学校	電子機械工学科	203	40	39	39	2	6	21	14	0	0	11	6	2	10	4	3	4	9	6	1	1	雑誌からの依頼
41	弓削商船高等専門学校	情報工学科	304	40	38	38	5	3	14	11	0	2	9	3	8	4	1	3	7	12	7	0	3	GM、いとこからの依頼

(出典: 学生課)

平成 24 年度 商船学科複数校志望受検制度実施について

広島商船高等専門学校 教務主事 松島勇雄
 大島商船高等専門学校 教務主事 辻 啓介
 弓削商船高等専門学校 教務主事 浜中俊一

1. 総括

平成 24 年度入試において平成 23 年度に引き続いて瀬戸内 3 商船高専が連携して、最寄り地受検制度及び商船学科の複数校志望受検制度による入試を実施した。合同検査地として、東京・大阪・広島・福岡・大島（複数校志望受検のみ）の 5 会場で開催し、複数校志望受検志願者は 49 名に上り、昨年度の 43 名から 6 名増加となった。そのうち第 1 志望校または第 2 志望校に 27 名が合格した（昨年度に比べ 6 名増加）。そのうち実際に入学した者は 26 名であった。詳細は下記表に示す。

併願組合せ	志望者	合格者			入学者		
		第1志望校	第2志望校	計	第1志望校	第2志望校	計
1 弓削-広島	5	1	0	1	0	0	0
2 弓削-大島	0	0	0	0	0	0	0
3 広島-弓削	15	3	6	9	3	6	9
4 広島-大島	11	4	0	4	4	0	4
5 大島-弓削	5	1	3	4	1	3	4
6 大島-広島	13	7	2	9	7	2	9
合計	49	16	11	27	15	11	26

2. 受検者の動向

第 2 志望校合格者 11 名のうち入学者が 11 名であることから、商船学科受検志望の中学生に対して、制度の目的である「受検機会・選択肢を広げる」ことが前年度より定着しつつあると考えられる。

また、会場別の志願者状況では、最寄り地受検志願者を合わせると、東京及び広島で増加、大阪及び福岡で若干減少したものの総数では 12 名の増加となった。

3 商船高専合同検査場での志願者数の昨年度比較（大島会場を除く）

（東京 5 名→10 名、大阪 9 名→4 名、広島 41 名→59 名、福岡 24 名→18 名、合計 79 名→91 名）

特に商船学科志願者は志向性が強く全国展開していることから、商船学科志願者数の拡大と合格水準の上昇など、今後とも波及効果が期待できる。

（出典：学生課）

資料4-2-②-5

平成22年度第1回入学試験委員会議事概要

日 時 平成22年4月29日(木) 16:25～17:05

場 所 第1会議室

出席者 別紙のとおり

議 題

(審議事項)

1. 推薦入試における評価基準について

○各学科長より審議資料1に基づき説明があった。各学科とも、昨年度からの主な変更点は以下のとおりである。

- ・調査書の評価対象を主要5教科から9教科に拡大した。

(出典：学生課)

資料4-2-②-6

平成23年度第12回入学試験委員会議事概要

日 時 平成24年2月28日(火) 14:00～14:28

場 所 第1会議室

出席者 別紙のとおり(16名)

議 題

(審議事項)

1. 平成24年度入学者(学力による選抜)の選考(最終)について

○副委員長から、今回は基本的に商船学科複数校志望受検者の最終選考を行うものであ

(中略)

2. 平成25年度学力検査の検査科目及び面接について

○副委員長から、現在、本校では全国で唯一3科目(英語・数学・国語)及び面接を実施している。昨年度から、商船学科複数校志望受検制度を導入しているが、入試業務が複雑化し、入試ミスがいつ起こってもおかしくない状態である等の理由により、平成25年度入学者選抜(学力検査)から、検査科目5科目(理科・英語・数学・国語・社会)で実施したい。また、面接も廃止したい旨提案があった。

○委員長から、審議願いたい旨発言があり、審議した結果、検査科目5科目及び面接なしということでした承された。

○委員長から、早い段階で実施要領を作成していただきたい旨の依頼があった。

(出典：学生課)

資料 4 - 2 - ② - 7

編入学生追跡状況

H21年度卒業生進路先（編入学生）

学科	氏名	進路先
電子機械工学科		就職（半導体エネルギー研究所）
情報工学科		就職（エクセルソフト）
情報工学科		進学（東京理科大）

H22年度卒業生進路先（編入学生）

学科	氏名	進路先
電子機械工学科		就職（ニチゾウテック）

H23年度卒業生進路先（編入学生）

学科	氏名	進路先
電子機械工学科		進学（長岡技科大）
電子機械工学科		進学（佐賀大）
電子機械工学科		進学（専攻科）
情報工学科		進学（専攻科）
情報工学科		就職（出光興産）

H24年度卒業生進路先（編入学生）

学科	氏名	進路先
電子機械工学科		進学（専攻科）
電子機械工学科		進学（豊橋技科大）
電子機械工学科		就職（みやび堂）
情報工学科		就職（フォーラムエンジニアリング）

（出典：電子機械工学科、情報工学科）

資料 4 - 2 - ② - 8

アドミッションポリシーに関するアンケート調査結果（専攻科生産システム工学専攻新入生用）

質問1 アドミッションポリシーをどの程度知っていましたか？(1)～(3)から1つを選んでください。

- (1) 掲示場所、内容とも知っていた。
 (2) 掲示場所は知っていたが、内容はよく知らなかった。
 (3) 掲示場所、内容とも知らなかった。

回答数
1
3
4

質問2 生産システム工学専攻の1つ目のアドミッションポリシー「手と頭脳が同時に働く実践的技術者を目指す人」に、貴方はどの程度合致していると思いますか？(1)～(4)から1つを選んでください

- (1) よく合致している。
 (2) ある程度合致している。
 (3) あまり合致していない。
 (4) 全く合致していない。

回答数
2
4
2
0

質問3 生産システム工学専攻の2つ目のアドミッションポリシー「コミュニケーション能力と国際感覚を備えたい人」に、貴方はどの程度合致していると思いますか？(1)～(4)から1つを選んでください

- (1) よく合致している。
 (2) ある程度合致している。
 (3) あまり合致していない。
 (4) 全く合致していない。

回答数
1
6
1
0

（出典：専攻科）

専攻科推薦入試

商船学科機関科

専攻科入試プレゼンテーション

電子機械工学科 年 番

(出典：学生課)

別紙

専門科目の出題範囲について

平成 24 年度実施の弓削商船高等専門学校専攻科生産システム工学専攻学力
入学試験における「機械工学に関する専門科目」および「情報工学に関する専
門科目」は、以下の内容で構成される。

「機械工学に関する専門科目」

問	分野	本校電子機械工学科 の関連科目	備考
1	材料力学	材料力学 1, 2	共通問題。全員が回答
2	設計工学	設計製図 3, 4	
3	工業力学	工業力学	
4	機械工作	機械工作法, 工作機械	

「情報工学に関する専門科目」

問	分野	配点	本校情報工学 科の関連科目	備考
1	情報工学基礎	40点	情報処理概論	共通問題。全員が回答
2	電子計算機	30点	電子計算機	選択問題。3問から2問を選択 して回答
3	情報処理	30点	情報処理 2	
4	制御工学	30点	制御工学	

なお、詳細な出題範囲については、各関連科目のシラバスを参照のこと。

(出典：学生課)

観点 4-3-①： 実入学者数が、入学定員を大幅に超える、又は大幅に下回る状況になっていないか。また、その場合には、これを改善するための取組が行われる等、入学定員と実入学者数との関係の適正化が図られているか。

(観点に係る状況)

本校志願者数に関して、3学科とも定員(40名)に対して志願者倍率のばらつきはあるものの、下記のような取組により、平成22年度入試以降、志願者総数は増加傾向にある(資料4-3-①-1)。

本校では、学力入試においては県立高校などとの併願を認めており、また県立高校の合格発表を待って、入学手続きを行っている。したがって、他校へ入学することを見込んで、定員120名に対し、工業系学科では、例年20%から40%程度超過して合格者を出している。こうした措置に関して入学定員と実入学者数に大幅な差異が生じないように、入試委員会及び専攻科委員会において、毎年度入学者数の適正化について検討を重ね、さらには受検者の在籍中学へ入学意思の聞き取り調査又は受検者へのアンケートを実施し、過去の入学者数データをもとに、数値的な根拠を得ている(資料4-3-①-2)。

しかしながら、近年、本校近隣の島嶼部、愛媛県・広島県内の近隣地域の少子化は著しく(資料4-3-①-3)、特に平成21年度入試から23年度入試にかけて、志願者数が急激に減少し、合格者を十分に出すことができなかった。これを改善するための対策として、広報主事・主事補を設置し、本校のPR資料の充実を図り、近隣地域の中学校へのPR訪問活動はもとより、さらに広範囲の中学校へのPR活動を積極的に行っている(資料4-3-①-4~6)。また、入学志向の高い推薦選抜による入学者の確保を50%程度にまで増やす措置、二次募集の実施や検査会場の新設及び最寄地受検制度を実施するなどの改善措置を取っている(資料4-3-①-7)。さらに、商船学科について平成23年度入試から瀬戸内3商船高専の連携による複数校志望受検制度を導入(資料4-3-①-8)したことにより、志願者が激増し、複数校志望受検志願者及び4大都市での最寄地受検を含めた志願者数も資料4-3-①-9のグラフに示すとおり年々増加の一途を辿っている。このような改善措置の結果、平成25年度入試においては、各学科とも入学定員を確保することができた(資料4-3-①-1)。これらの結果を踏まえて、工業系学科についても広島商船高専と連携して複数校志望受検制度を平成26年度入試から実施することで決定している(資料4-3-①-10)。

準学士課程工業系学科4年次への編入学に関しては、年度により変動が大きいものの、広報主事関係の中国四国地方、九州地方の高校へのPR活動により、平成22年度以降は一定数を確保できるようになっている(資料4-3-①-11)。

本校専攻科入学者数に関しては、生産システム工学専攻の入学定員8名であり、設置以来入学定員を確保している。年度により、定員の1.5倍程度となることもあるが、本校専攻科の設備、指導教員数から判断して、特に定員の大幅な超過とはなっておらず、十分に適正化が図られている。海上輸送システム専攻の入学定員は4名で、平成23年度、24年度は定員充足には至らなかった。専攻科課程に関する海洋関係の特別研究テーマ設定と所属指導教員の研究テーマとのマッチングの困難さがあると思われる(資料4-3-①-12)。専攻科委員会で専攻科だよりを活用して在校生への説明を強化するなどの改善を図り(資料4-3-①-13)、平成25年度10月入学予定者は4名を確保している。

(分析結果とその根拠理由)

本校近隣地域の少子化が著しい状況にあるなか、平成21年度入試から平成23年度入試にかけて入学者が減少したことに伴い、志願者の増加及び入学者数の確保に向けて、広報主事・主事補を設置し、PR資料の充実を図り、近隣地域の中学校へのPR訪問活動はもとより、さらに広範囲の中学校へのPR活動を積極的に行った。さらに、平成23年度入試から導入した瀬戸内3商船高専の連携による複数校志望受検志願者及び4大都市での最寄地受検を含めた志願者数が年々増加の一途を辿っており、このような改善措置の結果、平成25年度入試においては、各学科とも入学定員を確保することができた。入学定員と実入学者の関係において、適正化を図る改善の効果が現れていると考えられる。

編入学生の入学者数に関しても、平成22年度以降は一定数を確保できるようになっており、PR活動の結果、各地域の高校にも認知され、周知されてきている。

専攻科入学者に関しては、生産システム工学専攻においては定員充足されており、十分な取り組みがなされていると考えられる。また、海上輸送システム専攻においては、専攻科だよりを活用して内容を広く周知する取組を行い、入学者数の適性化を図っている。

以上のことから、実入学者数の適切な確保に向けて、これを改善するための取組が行われており、入学定員と実入学者数との関係の適正化が図られている。

受験者数推移

	全受験者数				推薦受験者数				志願者倍率				合格者数				入学者数			
	商船学 科	電子機 械工学 科	情報工 学科	総数	商船学 科	電子機 械工学 科	情報工 学科	総数	商船学 科	電子機 械工学 科	情報工 学科	全体	商船学 科	電子機 械工学 科	情報工 学科	総数	商船学 科	電子機 械工学 科	情報工 学科	総数
平成18年度	41	60	71	172	23	24	33	33	1.0	1.5	1.8	1.4	41	58	69	168	38	43	45	126
平成19年度	70	66	78	214	48	29	39	39	1.8	1.7	2.0	1.8	47	53	67	167	45	36	35	116
平成20年度	51	56	54	161	35	20	24	24	1.3	1.4	1.4	1.3	43	54	49	146	40	38	36	114
平成21年度	38	41	63	142	21	16	25	25	1.0	1.0	1.6	1.2	30	34	55	119	27	27	32	86
平成22年度	49	54	60	163	23	28	32	32	1.2	1.4	1.5	1.4	38	48	51	137	33	37	36	106
平成23年度	69	48	56	174	37	19	23	23	1.7	1.2	1.4	1.5	47	39	52	138	41	26	32	99
平成24年度	80	59	61	200	30	33	26	26	2.0	1.5	1.5	1.7	44	46	52	142	42	39	38	119
平成25年度	98	63	77	238	52	24	27	27	2.5	1.6	1.9	2.0	45	54	65	164	42	40	42	124

(出典：学生課)

資料4-3-①-2

学力入学者数の推定に用いる資料

非公開情報のための削除

(出典：学生課)

平成24年度近隣地区中学生数

尾道市

学校名	1年	2年	3年	合計
1 久保中	67	61	71	199
2 長江中	85	99	84	268
3 栗原中	168	166	182	516
4 吉和中	48	53	60	161
5 日比崎中	80	63	62	205
6 美木中	56	64	75	195
7 原田中	0	8	4	12
8 高西中	130	111	126	367
9 百島中	3	4	3	10
10 浦崎中	23	22	28	73
11 向東中	64	86	82	232
12 御調中	57	70	54	181
13 向島中	119	101	124	344
14 因島南中	79	65	93	237
15 因北中	39	61	63	163
16 重井中	20	19	27	66
17 瀬戸田中	49	53	53	155
18 生口中	21	15	13	49
計	1108	1121	1204	3433

※1. 14因島南中は、土生中・三庄中・田熊中の3校統合により発足した。

福山市

学校名	1年	2年	3年	合計
1 東中	189	182	178	549
2 城北中	239	257	259	755
3 城南中	248	209	235	692
4 鷹取中	127	128	128	383
5 城東中	148	155	148	451
6 幸千中	182	190	179	551
7 済美中	149	146	152	447
8 向丘中	140	137	143	420
9 鞆中	19	16	24	59
10 走島中	3	1	3	7
11 鳳中	124	114	88	326
12 倍達中	96	142	165	403
13 大成館中	139	136	132	407
14 松永中	97	97	77	271
15 精華中	49	37	41	127
16 中央中	104	104	98	306
17 芦田中	54	47	74	175
18 山野中	3	5	5	13
19 広瀬中	8	10	10	28
20 加茂中	100	111	83	294
21 駅家中	137	126	131	394
22 誠之中	171	177	140	488
23 城西中	92	81	82	255
24 大門中	132	100	125	357
25 一ツ橋中	94	114	119	327
26 東朋中	171	183	155	509
27 駅家南中	153	165	151	469
28 内海中	7	9	13	29
29 常金中	27	19	25	71
30 新市中央中	168	142	139	449
31 福山中	120	120	119	359
32 千年中	82	83	78	243
33 至誠中	35	46	45	126
34 神辺中	197	161	219	577
35 神辺東中	96	94	92	282
36 神辺西中	91	102	90	283
計	3991	3946	3945	11882

今治市

学校名	1年	2年	3年	合計
1 美須賀中	22	37	45	104
2 日吉中	143	174	130	447
3 近見中	66	74	63	203
4 立花中	170	174	166	510
5 桜井中	97	110	125	332
6 南中	158	168	147	473
7 西中	166	191	174	531
8 北郷中	129	145	142	416
9 朝倉中	18	35	40	93
10 玉川中	54	42	47	143
11 大西中	80	72	72	224
12 菊間中	46	54	48	148
13 吉海中	16	34	29	79
14 宮窪中	26	25	27	78
15 伯方中	57	65	54	176
16 上浦中	17	14	26	57
17 大三島中	16	15	15	46
18 関前中	1	3	1	5
計	1282	1432	1351	4065

三原市

学校名	1年	2年	3年	合計
1 第一中	43	32	31	106
2 第二中	145	126	121	392
3 第三中	153	167	124	444
4 第四中	26	21	20	67
5 第五中	113	128	142	383
6 幸崎中	20	33	22	75
7 宮浦中	113	108	103	324
8 本郷中	84	87	101	272
9 久井中	36	30	38	104
10 大和中	32	49	43	124
計	765	781	745	2291

上島町

学校名	1年	2年	3年	合計
1 魚島中				0
2 弓削中	23	30	22	75
3 岩城中	7	17	11	35
計	30	47	33	110

府中市

学校名	1年	2年	3年	合計
1 第一中	136	150	163	449
2 府中中	119	109	130	358
3 府中明郷中	43	40	43	126
4 上下中	31	46	45	122
計	329	345	381	1055

※1. 3府中明郷中は、第三中からの名称変更により発足した。

(出典：学生課)

第11回運営委員会議事概要

日 時 平成21年 2月18日(水) 16:40~17:50

場 所 第2会議室(管理棟2階)

議 題

(審議事項)

(中略)

(報告事項)

1. 平成21年度校内役職教員について

- ・校長から、報告資料1に基づき、「平成21年度校内役職教員」について、次のとおり報告があった。
- ・本来は、規則の改正後に役職教員を割り当てるのであるが、規則の改正が後追いになることをご了解いただきたい。なお、次回の運営委員会に関連する規則の改正については、全て提出したいと思っているので、併せてご了解いただきたい。
- ・大きな変更内容は、広報主事を設けて4主事体制で行う。
- ・広報主事の業務は、学生募集対策委員会及び広報委員会を担当していただく。
- ・学生募集というところを皆さんに認識していただくことや更に各中学校を訪問する場合に大きな責任を持って訪問しているということのために広報主事を設けたい。
- ・教務主事、学生主事、寮務主事及び広報主事は、副校長という名称の方が対外的にも理解しやすいということで、現在の校長補佐という名称から副校長という名称に変える。

(出典：総務課)

県番号	地域	No.	中学校名					
				H24.4	H24.5	H24.6	H24.7	
34	広島県東広島市	358	広島県世羅町立甲山			PR勸久保6/22		
		359	広島県東広島市立高屋					
		360	広島県東広島市立八本松					
		361	広島県東広島市立河内					
		362	広島県廿日市市立阿品台					
	広島県尾道市	363	広島県尾道市立浦崎				PR上江7/19	
		364	広島県尾道市立久保			PR岡本6/25		
		365	広島県尾道市立栗原	進路益崎・樹田5/16			PR鶴7/5	
		366	広島県尾道市立高西			PR上江6/14		
		367	広島県尾道市立長江				PR鶴7/5	
		368	広島県尾道市立日比崎			PR上江6/14		
		369	広島県尾道市立美木				PR鶴7/5	
		370	広島県尾道市立百島					
		371	広島県尾道市立御調			PR勸久保6/22		
		372	広島県尾道市立吉和		PR益崎5/16	進路徳田6/21		
		373	広島県尾道市立因北		PR益崎5/16			
		374	広島県尾道市立因島南			PR益崎6/1	進路長尾7/6	
		375	広島県尾道市立重井			PR益崎6/1		
		376	広島県尾道市立向島			PR益崎6/1		
		377	広島県尾道市立向東			PR益崎6/1	進路鶴・長井7/3	
		378	広島県尾道市立瀬戸田		PR益崎5/24			
		379	広島県尾道市立生口	PR益崎4/20				
		広島県府中市	380	広島県府中市立第一			PR勸久保6/22	
			381	広島県府中市立第三				
			382	広島県府中市立明郷			PR勸久保6/22	
	383		広島県府中市立上下			PR勸久保6/22		
	384		広島県府中市立府中			PR勸久保6/22		
	385		広島県福山市立一ツ橋				PR塚本7/10	
	広島県福山市	386	広島県福山市立内海				PR二村7/10	
		387	広島県福山市立駅家				PR伊藤芳7/9	
		388	広島県福山市立駅家南				PR伊藤芳7/9	
		389	広島県福山市立幸千				PR伊藤芳7/9	
		390	広島県福山市立済美				PR二村7/9	
		391	広島県福山市立松永				PR二村7/10	
		392	広島県福山市立城西				PR二村7/10	
		393	広島県福山市立城東				PR塚本7/9	
		394	広島県福山市立城南				PR塚本7/10	
		395	広島県福山市立城北				PR塚本7/9	
		396	広島県福山市立神辺				PR伊藤芳7/9	
		397	広島県福山市立神辺西				PR伊藤芳7/9	
		398	広島県福山市立神辺東				PR伊藤芳7/9	
		399	広島県福山市立精華				PR二村7/3	
		400	広島県福山市立誠之				PR塚本7/10	
		401	広島県福山市立千年				PR二村7/10	
		402	広島県福山市立大成館				PR二村7/9	
403		広島県福山市立大門				PR塚本7/9		
404		広島県福山市立鷹取				PR塚本7/10		
405		広島県福山市立東				PR塚本7/10		
406		広島県福山市立東朋				PR塚本7/9		
407		広島県福山市立培遠				PR塚本7/9		
408		広島県福山市立向丘				PR二村7/3		
409		広島県私立銀河学院						
410		広島県福山市立芦田				PR益崎7/17		
411		広島県福山市立至誠				PR二村7/3		
412		広島県福山市立新市中央			PR勸久保6/22			
413		広島県福山市立中央				PR塚本7/9		
414		広島県福山市立鳳				PR塚本7/9		
415		広島県福山市立鞆				PR二村6/27		

(出典：学生課)

資料4-3-①-6

平成24年度第1回学生募集対策委員会議事概要

非公開情報のための削除

(出典：平成24年度第1回学生募集対策委員会)

平成23年度弓削商船高等専門学校学生募集要項(第2次)(案)

I 募集人員

学科名	募集人員
電子機械工学科	10名程度
情報工学科	5名程度

(注)各学科とも、男女の別を問いません。

II 選抜方法

入学者の選抜は、「学力検査による選抜」により行います。

1. 出願資格

次のいずれかに該当する者とします。

- (1) 中学校を卒業した者又は平成23年3月卒業見込みの者
- (2) 中等教育学校の前期課程を修了した者又は平成23年3月前期課程修了見込みの者
- (3) 中学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者(学校教育法施行規則第95条に該当する者)

2. 出願手続

(1) 受付期間

平成23年3月15日(火)から3月22日(火)まで

持参する場合は午前9時から午後4時まで受け付けます。

ただし、土曜日、日曜日及び祝祭日は窓口受付を行いません。

(郵送の場合も3月22日(火)までに必着のこと。)

(2) 受付場所

〒794-2593 愛媛県越智郡上島町弓削下弓削1000番地

弓削商船高等専門学校 学生課入試係

TEL 0897-77-4619

(出典：学生課)

平成22年度第1回入学試験委員会議事概要

日 時 平成22年4月29日(木) 16:25～17:05

場 所 第1会議室

出席者 別紙のとおり

議 題

(審議事項)

(中略)

2. 平成23年度学生募集要項(案)について

○副委員長より、昨年度からの変更点について審議資料2に基づき説明があった。昨年度からの主な変更点は以下のとおりである。

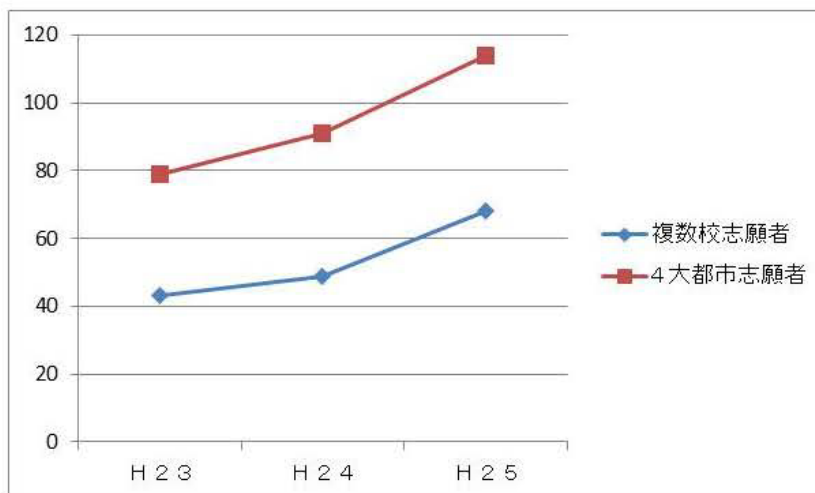
- ・「商船学科複数校志望受検制度」を採用した。
- ・受検地に尾道を追加した。検査場案内図は、最終的にはもう少しすっきり分かりやすいものに差し替える予定である。

(出典：平成22年度第1回入学試験委員会議事抜粋)

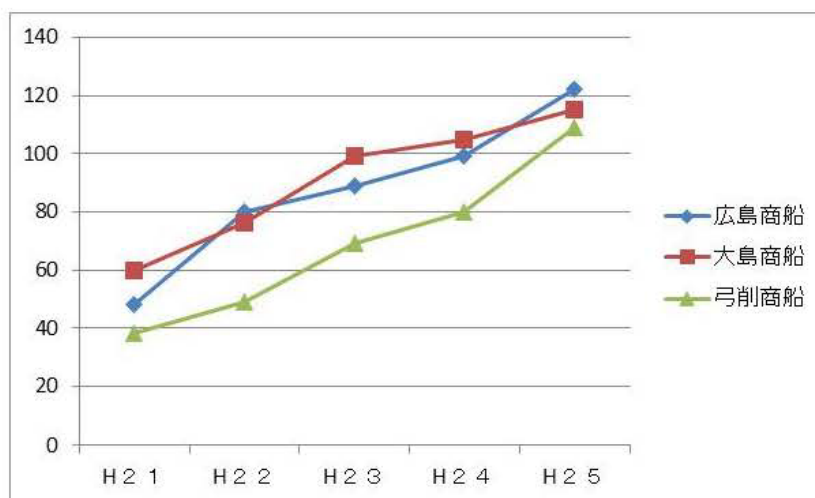
資料 4 - 3 - ① - 9

2. 結果とまとめ

過去3年間の複数校志望受検志願者及び4大都市での最寄地受検を含めた志願者数の推移は下記のグラフの通り年々増加の一途を辿っている。



また、3校の商船学科志願者（推薦及び学力）総数も下記のグラフの通り複数校志望受検制度を始める以前に比べ飛躍的に増加し、複数校志望受検制度実施後も軒並み上昇している。



過去3年間で複数校志望受検制度を利用して合格した志願者のうち、入学率は平成23年度90%、平成24年度96%、平成25年度100%と入学率も高く、学生のニーズに応え得るこの制度の優位性を示している。

今年度は、検査室を共有したことにより各会場の世話校（東京：弓削、大阪：弓削、広島：広島、福岡：大島、大島本校：大島）が3校分の入試問題及び解答用紙を準備して持参し、入試前日に各会場で検査員による最終打ち合わせを行い、スムーズな入試運営になるよう改善を図った。また、入試当日及び採点日に3校をテレビ会議で結び、高専機構からの指示に対する対応や採点基準の詳細について、教務主事同士が直接話し合う機会を頻繁に持つことで連携を強めることが出来た。

以上の通り、商船学科の複数校志望受検制度及び最寄地受検制度による学力入試は、着実に実績を挙げており、今後とも商船学科志願者数の拡大と入学生の質の向上に繋がることが期待できる。

（出典：学生課）

資料4-3-①-10

電子機械工学科・電子制御工学科複数校志望受検制度
による入学者選抜試験実施要項

個人情報等保護のための削除

(出典：学生課)

資料4-3-①-11

準学士課程工業系学科4年次への編入学者推移

	電子機械工学科			情報工学科		
	受検者数	合格者数	入学者数	受検者数	合格者数	入学者数
平成18年度	4	3	2	4	4	1
平成19年度	2	2	1	3	2	0
平成20年度	5	5	2	5	5	2
平成21年度	12	12	1	6	6	0
平成22年度	6	4	3	4	4	2
平成23年度	8	6	3	9	8	2
平成24年度	6	6	4	6	6	2
平成25年度	4	4	1	4	3	3

(出典：学生課)

資料4-3-①-12

専攻科への入学者推移

	生産システム工学			海上輸送システム工学		
	受検者数	合格者数	入学者数	受検者数	合格者数	入学者数
平成18年度	9	9	8	10	8	5
平成19年度	9	9	9	3	3	3
平成20年度	13	13	13	5	5	4
平成21年度	12	11	9	7	4	4
平成22年度	10	9	8	6	5	5
平成23年度	11	10	10	2	1	1
平成24年度	12	12	11	2	2	2
平成25年度	9	8	8			

(出典：学生課)

専攻科だより 第26号

平成 24 年 6 月

専攻科行事の報告

■ 生産システム工学専攻入学式

4月10日に举行され、8期生11名（機械系7名、情報系4名）が入学しました。より高度で実践的な知識や技術の修得を目指すと共に、研究活動にも取り組みます。



生産システム工学専攻新入生（8期生）

■ 中四国地区専攻科生研究交流会

4月27・28日に香川県で開催され、専攻科2年生14名が日頃の研究成果を発表しました。
参加した学生の感想

本交流会への参加は他高専の専攻科生と交流を深めるとともに、自分自身の研究を見直す良いきっかけになりました。他高専の方々から頂いた貴重なご意見を今後の研究に是非生かしたいと思います。（生産2年 澤村幸輝）

新カリキュラムの紹介

7年前に専攻科が設置されて以来、初めてカリキュラムの改訂を行い、以下の3科目を新設しました。

■ インターンシップ

国内外にある企業・事業所での実務や、大学の研究室での研修体験を通して、自分の職業適性や将来の目標をより明確にすることを目的にしています。

■ 教育技術演習

本科低学年の補習、学生実験、公開講座などのアシスタントとして指導する経験を積むことにより、自身の総合的な学習経験を活かした教育技術、コミュニケーション能力、ならびに企画を円滑に実行する計画性の向上を図ります。

■ 生産システム工学概論

機械系出身者が情報系科目を履修する、または情報系出身者が機械系科目を履修するにあたり問題となる専門的予備知識の不足を補う目的で開設されています。したがって、異なる分野の学習がスムーズに行えるよう柱となる理論や技術の概要を習得することが目標です。

専攻科生の受賞報告

■ 学会発表で優秀発表賞を受賞

3月7日、広島大学（東広島市）で開催された第42回学生員卒業研究発表講演会（日本機械学会中国四国学生会）において、専攻科生産システム工学専攻（当時）の矢口竜也君が優秀発表賞を受賞しました。発表題目は「熱重量測定装置の製作と木質バイオマス炭化物の評価実験」でした。

（出典：専攻科だより第26号）

(2) 優れた点及び改善を要する点

(優れた点)

平成 23 年度入試から全国の高等専門学校に先駆けて、瀬戸内 3 商船高等専門学校の連携による商船学科複数校志望受検制度及び東京、大阪、広島、福岡の 4 大都市での最寄地受検制度を導入している。商船学科の高い志向性を持つ志願者が増加し、最寄地受検地での志願者も年々増加の一途を辿っており、成果を上げている。さらに、電子機械工学科についても、広島商船高等専門学校と平成 26 年度入試から複数校志望受検制度を導入することにしており、入試改革に積極的に取り組んでいる。

(改善を要する点)

本校近隣地域の少子化が著しい状況にあるなか、平成 25 年度入試では入学定員が確保できたものの、今後も安定した志願者確保に向けた継続的な努力が必要である。

(3) 基準 4 の自己評価の概要

準学士課程各学科及び専攻科課程の教育目的に沿って、入試委員会、専攻科委員会、運営委員会の審議を経てアドミッション・ポリシーが定められている。教職員には、教員会議等での説明及びウェブサイトにも明示すること等で周知している。将来の学生に理解してもらうため、中学校訪問、オープンキャンパス、学校説明会等でアドミッション・ポリシーを記載した資料を配布し説明している。また、ウェブサイトでの掲載、学校案内等を全国各地に送付することにより、広く社会に公表している。

準学士課程への入学者選抜においては、調査書の科目評価点及び学力検査点について傾斜配点を行っており、技術者として必要な基礎学力を重視し、本校の求める学生を受入れることに努めている。推薦入試においても、面接時には必ずアドミッション・ポリシーについて質問し、面接評価を行っている。専攻科の入学者選抜においても、定められた選抜基準に基づきアドミッション・ポリシーに沿った学生の受入を行っている。

アドミッション・ポリシーに沿った学生の受入が実施されているかについて、学生の成業率や入学後の学力試験実施及びアンケート調査などによって検証している。専攻科の学生受入については、入学後のアンケート実施、志望動機や志向性、特別研究について学生にプレゼンを課すことで検証している。

近隣地域の少子化が著しい状況の中、平成 21 年度入試から平成 23 年度入試にかけて入学者が減少したが、広報主事・主事補を設置し、PR 資料の充実を図り、近隣及び広範囲の中学校への PR 活動を積極的に行った。さらに、平成 23 年度入試から導入した瀬戸内 3 商船高等専門学校の連携による複数校志望受検制度及び東京、大阪、広島、福岡の 4 大都市での最寄地受検制度を含めた志願者数が、年々増加の一途を辿っており、このような改善措置の結果、平成 25 年度入試においては、各学科とも入学定員を確保することができた。電子機械工学科についても、広島商船高等専門学校と連携して平成 26 年度入試から複数校志望受検制度を実施する。

専攻科入学者については、生産システム工学専攻については定員充足されており、十分な取組がなされている。一方、海上輸送システム専攻については、平成 23、24 年度は定員充足には至らなかったが、専攻科だよりを活用して内容を広く周知する取組を行い、入学者数の適性化を図っている。